

■看護学研究科 修士論文審査基準（看護学研究科修士課程・看護学専攻）

- (1) ルーブリックは「評価基準表」とも呼ばれるもので、本研究科では、修士論文の指導と評価のために使用します。
- (2) 表をよく見て「どのような修士論文が評価されるのか」を提出前に確認し、評価基準と照らして自身の論文の精度や質を点検し、さらに向上させるための道具として使用してください。

論文審査基準 (評価の観点)	レベル3 (合格)	レベル2 (一部に修正・加筆が必要な状態)	レベル1 (不合格)
1 研究テーマは内容を適切に表現している	<input type="checkbox"/> 研究テーマは、論文の内容一致しており、研究内容をイメージできるテーマとなっている。英文テーマは、日本語テーマと合致している。	<input type="checkbox"/> 研究テーマから論文の内容がイメージしにくい状態であるため、テーマに主要なキーワードを含めるなどして、内容と一致させる必要がある。英文テーマが日本語テーマと合致していない。	<input type="checkbox"/> 研究テーマと論文内容が一致していない。
2 要旨の内容は適切である	<input type="checkbox"/> 論文の要旨が基本要件(A4 版横書き、2,000 以内、3 部提出)を満たしており、規定された範囲内で論文の全体像が表現されている。	<input type="checkbox"/> 要旨が基本要件を満たしていない。または、基本要件は満たしているものの、論文の全体像が表現されていない。	<input type="checkbox"/> 基本要件、内容ともに不十分である。
3 先行研究を踏まえ、文献検討が十分に行われている	<input type="checkbox"/> 当該分野の代表的な先行研究が網羅・クリティークされており、研究の意義が説明されている。	<input type="checkbox"/> 当該分野の代表的な先行研究が十分に網羅・クリティークされていない。研究の意義が十分に説明されていない。	<input type="checkbox"/> 当該分野の代表的な先行研究が網羅・クリティーク不十分であり、研究の意義が説明されていない。
4 研究目的が明確である	<input type="checkbox"/> 論文の目的が明確に述べられている。	<input type="checkbox"/> 論文の目的を的確に表現していないため、修正・見直しが必要である。	<input type="checkbox"/> 論文の目的や内容が的確に表現されていない。
5 研究目的に照らして、研究対象と研究デザインが適切である	<input type="checkbox"/> 研究目的に対してふさわしい研究デザインがとられており、学問的批判に対して耐えうるものである。	<input type="checkbox"/> 研究デザインに、一部適切でない箇所があるため、修正見直しが必要である。	<input type="checkbox"/> 研究の目的に対してふさわしい研究デザインが選択されていない。
6 使用されている概念・用語の定義は適切である	<input type="checkbox"/> 使用されている概念・用語の定義は適切である。	<input type="checkbox"/> 使用している概念・用語の定義に不明な点があるため、修正見直しが必要である。	<input type="checkbox"/> 使用されている概念・用語の定義が不適切である。
7 倫理的事項の記載がある	<input type="checkbox"/> 研究対象者の匿名化や個人情報の取り扱いが適切であり、インフォームドコンセントや所属施設・機関の承認を得た上で、研究倫理審査委員会の承認番号が記載されている。	<input type="checkbox"/> 左記のいずれかにおいて、追加の記載が必要な箇所が見られる。	<input type="checkbox"/> 倫理的事項の記載がない、あるいは不適切な箇所が散見される。
8 データに基づき分析が適切、かつ、十分に行われている	<input type="checkbox"/> 分析はデータや根拠に基づいたものであり、看護学研究として十分に科学的な分析が行われている。	<input type="checkbox"/> 一部、分析がデータや根拠に基づいていない箇所があり、修正を必要とする。	<input type="checkbox"/> 分析はデータや根拠に基づいたものと言えず、分析の基となるデータや根拠の追加収集が必要である。
9 結果が明確である	<input type="checkbox"/> 研究結果から導き出された結論が明確に提示されており、研究の方法・分析とも整合的・論理的である。	<input type="checkbox"/> 研究結果が述べられているが、研究方法・分析が適切でない部分が見られる。あるいは、それらと結果との関係が不明瞭である。	<input type="checkbox"/> 研究結果が述べられていない。あるいは、研究方法・分析が結論を支持しているとはいえない。

10 結果に基づく考察が展開されている	<input type="checkbox"/> 考察が研究結果と整合的かつ論理的に展開されている。	<input type="checkbox"/> 研究結果に基づく考察が述べられているが、一部論理的に整合性がないなど、研究結果との関連性が不明である。	<input type="checkbox"/> 研究結果を踏まえた考察が述べられていない。あるいは、研究結果から論理的に導き出された考察とはいえない。
11 結果や考察、結論には看護学の新しい知見が含まれている	<input type="checkbox"/> 結果や考察、結論には看護学の新しい知見が含まれており、独創的なものである。	<input type="checkbox"/> 先行研究の知見と比較したとき、必ずしも独創的とはいえない。結果や考察、結論での看護学の新しい知見が不明確であり、独創性が不明瞭である。	<input type="checkbox"/> 結果や考察、結論には看護学の新しい知見が含まれていない。
12 論理に一貫性がある	<input type="checkbox"/> 問題意識から考察・結論に至るまで論理に一貫性がある。	<input type="checkbox"/> 問題意識から考察・結論に至るまで論理に一貫性がない部分が一部見られる。	<input type="checkbox"/> 問題意識から考察・結論に至るまで論理に一貫性がない。
13 省略語・単位・数値等は適切に表現されている	<input type="checkbox"/> 省略語・単位・数値等は適切に表現されている。	<input type="checkbox"/> 省略語・単位・数値等に不明な点があるため、注の挿入や引用の明示など、改善すべき箇所がある。	
14 文章表現が適切である	<input type="checkbox"/> 論文としての文章や文章表現が適切であり、洗練された文章となっている。	<input type="checkbox"/> 分量、誤字・脱字、引用・改行、「てにをは」など、基本的な文章表現に修正が必要である。	
15 文献の引用方法が適切である（APAスタイル）	<input type="checkbox"/> APA（The American Psychological Association：米国心理学会）スタイルに基づき、適切に文献が引用されており、引用文献に絞って文献リストが提示されている。	<input type="checkbox"/> APAスタイルを採用し文献を引用しているが、一部に統一されていない箇所が見られるため、修正が必要である。	<input type="checkbox"/> APAスタイルとは別の引用方法が採用されており、本研究科に提出する修士論文として不適切である。
16 図、表の体裁（タイトル、単位、形式）が適切である	<input type="checkbox"/> 図、表の体裁（タイトル、単位、形式）が適切であり、論文全体を通じて統一されている。	<input type="checkbox"/> 図、表の体裁（タイトル、単位、形式）が統一されておらず、一部不適切な箇所が見られる。	<input type="checkbox"/> 図、表の体裁（タイトル、単位、形式）が適切でない。
17 図、表は本文の説明と適合している	<input type="checkbox"/> 図、表は本文の説明と適合しており、図、表が論理の展開に必要なものが提示されている。	<input type="checkbox"/> 図、表と本文の説明が一致していない箇所がみられる。	<input type="checkbox"/> 図、表が本文の説明と一致していないため、どのような目的・意図をもって示された図、表なのか評価できない。
18 章立て等の論文の体制が整い、修士論文作成要領に準拠している	<input type="checkbox"/> 研究科が示す「修士論文作成要領」・「修士論文作成に関するチェックリスト」に準拠し、体裁の整った論文となっている。	<input type="checkbox"/> 体裁が整っていない箇所が一部見られる。	<input type="checkbox"/> 「修士論文作成要領」・「修士論文作成に関するチェックリスト」と大幅に異なる体裁となっている。